

# 地域内で資源が循環する「ローカルフードサイクリング事業」の立ち上げ

活動地域  福島県

ひろげる助成

3年目

実践

生ごみの資源化 **26.2 t**

コミュニティ  
コンポスト参加世帯率 **6.6 %**

今年度計画の達成度 **75 %**

目標達成度 **70 %**



地域内外のボランティアとともに活動を実施

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

地域マーケットや講座の参加者集めに苦労した。広報期間が十分でなかったり、開催日を固定したことで都合から参加できない層もいた。

### ■ 工夫した点

新設された自治会、戸建町内会の行事でのコンポスト活用の提案など連携を図り、資源循環の有効性や活動の魅力を伝えた。その結果自治会による資源循環活動がスタートした。

## 課題

生ごみの焼却処分によって焼却や移送時に多くのCO<sub>2</sub>が発生しているが、具体的政策は取られていない。また具体的な行動を起こさないヒトゴト層の巻き込みが課題である。

## 目標

持続可能な循環型地域社会の構築へ向けて、誰もが自分ゴトとして取り組む有意義で楽しい地域サービスをつくる。

## 活動内容と成果

- 研究会では、事業の設計や運営、他地域展開に向けた認証制度などについての検討を年12回開催した
- スクールを受講したことで技術を身に付けた地域住民が、活動ボランティアとして参加する人が現れた
- 家庭の生ごみをコンポストに入れ、回収交換し、地域内の畑で堆肥化した。165世帯が継続し、生ごみを26.2t(累計52.5t)削減
- 町内会が主体で落ち葉の資源化を開始。町内会と連携し進めている
- ガーデンに雑草残さ堆肥の作り方看板を設置。コンポスト利用者が増え、できた堆肥を畑に還元している



住民が公園に落ち葉を持ち込み堆肥化する



女性に人気のオーガニックハーブ講座

## 全助成期間の活動を振り返って

参加世帯の目標値である住民の13.5%の参加には達しなかったが、ローカルフードサイクリングの理念に賛同し、資源循環活動に取り組みだした人たちが定着してきた。地域では住民主体の活動も始まっている。住民主体の活動の支援を継続し、他地域移転につなげたいと考えている。

〒811-0201  
福島県福島市東区三苫4-4-27  
電話：092-405-5217  
E-mail：info@jun-namaken.com  
HP：http://www.jun-namaken.com/



## 今後の展望

今の仕組みから、さらに住民が主体となった事業モデルを検証し、改善を繰り返しながら確立を目指す。持続的な事業実施のために、セルフ回収交換の実施や、サービスの有料化も視野に入れ、仕組み改善と運営体制の強化に取り組む。また活動地を資源循環圏の実践モデル地域として、普及や啓発などに活用したり、地域内で資源を回すための適正技術の習得・育成の場として機能を高めていく。